

4月15日(月)「話をよく聞く」ことの大切さ

全校のみなさん、おはようございます。

先週、全部のクラスの様子を見ようと、学校探検をしてみました。すると校長先生と廊下ですれ違うと、すすんで「こんにちは」と挨拶をしてくれる人が大勢いました。気持ちのよい挨拶に一日中いい気分でした。始業式の日には「は・あ・と」についてお話ししましたが、「あ」いさつはとてもよくできています。これからも、ぜひすすんであいさつをしていってくださいね。

今日は「は・あ・と」の「は」、「話をよく聞く」についてお話しします。

先生の教えた子の中で、勉強がとても苦手だと思っていた子がいました。おうちの方も心配して、塾に行こうか悩んでいました。そこでしばらくの間、先生の方に顔を向けて話をしっかり聞くことを目標にしようと言いました。

その子はその日から「話をよく聞く」ことに気持ちを集中させました。すると、それまではじっと話を聞くのは苦手でしたが、だんだんと落ち着いて聞くことができるようになりました。そして、話を聞けるようになると今まで分からなかったことが分かるようになり、ほめられることが多くなったり、と色々な変化が起こりました。その結果、1学期の成績はびっくりするほど上がっていました。

「話をしっかり聞く」という一度ついた習慣は、その後も卒業まで変わりませんでした。みなさんもぜひ、先生やお友達の話をよく聞くことを目標にがんばってください。なるほど!と思ったときはうなずくなど、リアクションができるようになったら完璧です。

それではこれで校長先生のお話を終わります。